そうだ、京都鉄道博物館へいこう。

（滋賀の私鉄＋高速バスも乗ろう。）

記

１．　日時

2016 年 10 月 15 日（雨天決行）

２．　ルート

（往路）
勝川駅→(JR 中央本線)→名古屋駅→(JR 東海道本線)→米原駅→(近江鉄道本線)→八日市駅→(近江鉄道八日市線)→近江八幡駅→(JR 東海道本線)→石山駅→(京阪石山坂本線)→浜大津駅→(京阪京津線・京都市営地下鉄東西線)→烏丸御池駅→(京都市営地下鉄烏丸線)→京都駅→(徒歩)→京都鉄道博物館
（復路）
京都鉄道博物館→(徒歩)→京都駅→(名神ハイウェイバス)→名鉄バスセンター

３．　当日の動き

Twitter(@ugougo391)にて随時報告

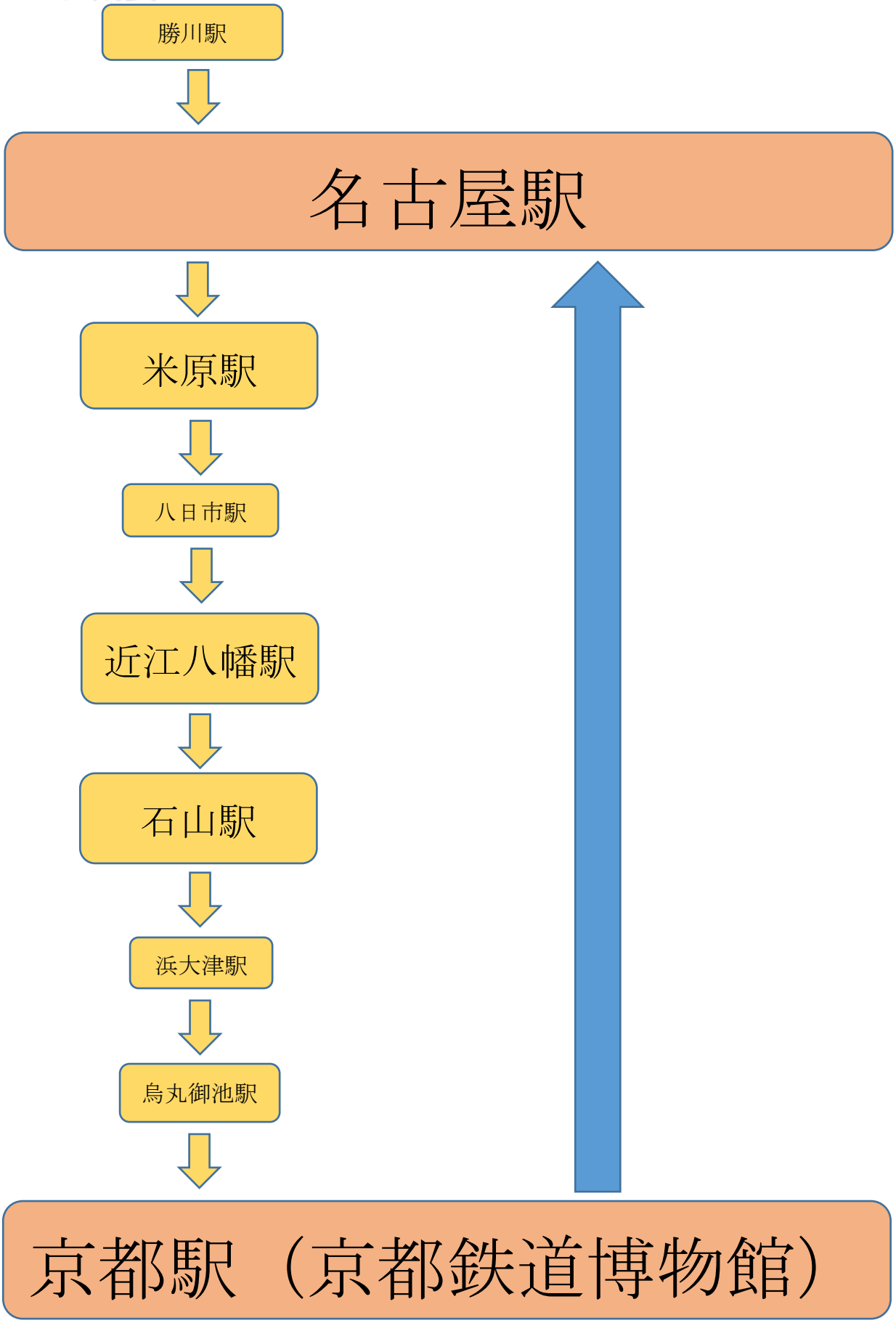
４．　事後の動き

まとめ動画を YouTube に投稿予定。また、当 HP にレポート投稿予定。

以上

そうだ、京都鉄道博物館へいこう。

ルート概要



そうだ、京都鉄道博物館へいこう。

京都鉄道博物館とは？

京都鉄道博物館（きょうとてつどうはくぶつかん、英語：*Kyoto Railway Museum*）は、京都府京都市下京区観喜寺町に、2016 年 4 月 29 日に開館した鉄道博物館である。西日本旅客鉄道（JR 西日本）および公益財団法人交通文化振興財団が運営する。

（Wikipedia より）

もともと、JR 西日本は「交通科学博物館」(大阪府大阪市港区)と「梅小路蒸気機関車館」(京都府京都市下京区)を所有しており、「京都鉄道博物館」は、この2つの博物館を統合し梅小路蒸気機関車館のあった場所に 2016 年 4 月 29 日に開館した。

構内に梅小路運転区があり、現在も現役の蒸気機関車が展示されている。また、実際の蒸気機関車を使用した「SL スチーム号」(別料金)が運行されている。

館内には、500 系新幹線やトワイライトエクスプレス用の電源車など 53 両の車両が展示されている。

JR 所有の博物館には、他に JR 東日本の「鉄道博物館」(埼玉県さいたま市大宮区)や JR 東海の「リニア・鉄道館」(愛知県名古屋市港区)がある。なお、現在のところこれらの博物館を抜き、面積・展示車両数で日本一である。

Q&A

なぜわざわざ遠回りをするの？

これまで滋賀県の鉄道はJRしか乗ったことがなく、せっかく京都鉄道博物館にいくのだったらこれまで乗ったことがなく、寄り道程度で済む近江鉄道や京阪大津線に乗ってみようと思ったからです。

今回かかる費用は後述しますが、ただ京都鉄道博物館に行くだけであればもっと節約できます。

なぜ高速バスに乗るの？

これは、費用の節約というのもありますが、ただ単純に高速バスに乗ってみたいからです。

というのも、これまで高速乗合バスの系統では近距離の「名古屋－小牧線」しか乗ったことがなく、中長距離の高速バスの乗車経験が全くないのです。

そこで、京都（元計画では大阪）という名古屋から比較的中距離かつ安価で済む場所から挑戦しようと思いました。

また、高速バスには学割が存在し、在学中の現在であればJR在来線や通常料金より更に安価で移動できることも魅力的でした。

なぜ名鉄バスセンターまで乗るの？

これは、個人的に終点まで乗りたいというだけです。

もちろん名古屋駅太閤通口で降りたほうが利便性は高いですし、様々な面で楽なのは明白です。しかし、自分はせっかくなので終点まで乗りたいと思います。

旅程と費用

旅程

（往路）

6:57（勝川）－7:12（名古屋）	普通　名古屋
7:32（名古屋）－8:44（米原）	特別快速　米原
9:07（米原）－9:46（高宮）	普通　多賀大社前
9:48（高宮）－10:11（八日市）	普通　貴生川
10:15（八日市）－10:34（近江八幡）	普通　近江八幡
10:39（近江八幡）－10:59（石山）	新快速　姫路
11:09（京阪石山）－11:23（浜大津）	普通　坂本
11:33（浜大津）－11:59（烏丸御池）	普通　太秦天神川
12:06（烏丸御池）－12:12（京都）	普通　新田辺

（復路）

18:30（京都駅）－20:55（名鉄バスセンター）

名神ハイウェイバス京都線 228 便（JR 東海バス便）

今回の旅の費用

JR 東海	勝川－米原	¥1660
近江鉄道	米原－近江八幡	¥950
JR 西日本	近江八幡－石山	¥410
京阪・京都市営地下鉄	京阪石山－京都	¥610
	京都鉄道博物館	¥1000
JR 東海バス	京都駅－名古屋駅	¥2040（学割）

計　6670 円